

トルバプタン OD 錠 7.5mg 「TE」・15mg 「TE」
先発品との効能又は効果、用法及び用量の相違

	トルバプタン OD 錠 7.5mg 「TE」	先発品：サムスカ OD 錠 7.5mg
効能又は効果	○ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留 ○ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留	○ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留 ○ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留
		○抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH）における低ナトリウム血症の改善 ○腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制
用法及び用量	〈心不全における体液貯留〉 通常、成人にはトルバプタンとして 15mg を 1 日 1 回経口投与する。 〈肝硬変における体液貯留〉 通常、成人にはトルバプタンとして 7.5mg を 1 日 1 回経口投与する。	〈心不全における体液貯留〉 通常、成人にはトルバプタンとして 15mg を 1 日 1 回経口投与する。 〈肝硬変における体液貯留〉 通常、成人にはトルバプタンとして 7.5mg を 1 日 1 回経口投与する。
		〈SIADH における低ナトリウム血症〉 通常、成人にはトルバプタンとして 7.5mg を 1 日 1 回経口投与する。必要に応じて、望ましい血清ナトリウム濃度に達するまで段階的に増量できる。なお、患者の状態により適宜増減するが、最高用量は 1 日 60mg までとする。 〈常染色体優性多発性のう胞腎〉 通常、成人にはトルバプタンとして 1 日 60mg を 2 回（朝 45mg、夕方 15mg）に分けて経口投与を開始する。1 日 60mg の用量で 1 週間以上投与し、忍容性がある場合には、1 日 90mg（朝 60mg、夕方 30mg）、1 日 120mg（朝 90mg、夕方 30mg）と 1 週間以上の間隔を空けて段階的に増量する。なお、忍容性に応じて適宜増減するが、最高用量は 1 日 120mg までとする。

	トルバプタン OD錠 15mg 「TE」	先発品：サムスカ OD錠 15mg
効能又は効果	ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留	○ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留
		○抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH）における低ナトリウム血症の改善 ○腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制
用法及び用量	通常、成人にはトルバプタンとして 15mg を 1 日 1 回経口投与する。	〈心不全における体液貯留〉 通常、成人にはトルバプタンとして 15mg を 1 日 1 回経口投与する。
		〈SIADH における低ナトリウム血症〉 通常、成人にはトルバプタンとして 7.5mg を 1 日 1 回経口投与する。必要に応じて、望ましい血清ナトリウム濃度に達するまで段階的に増量できる。なお、患者の状態により適宜増減するが、最高用量は 1 日 60mg までとする。 〈常染色体優性多発性のう胞腎〉 通常、成人にはトルバプタンとして 1 日 60mg を 2 回（朝 45mg、夕方 15mg）に分けて経口投与を開始する。1 日 60mg の用量で 1 週間以上投与し、忍容性がある場合には、1 日 90mg（朝 60mg、夕方 30mg）、1 日 120mg（朝 90mg、夕方 30mg）と 1 週間以上の間隔を空けて段階的に増量する。なお、忍容性に応じて適宜増減するが、最高用量は 1 日 120mg までとする。